

# 中小学校だより

平成22年12月24日 瑞穂市立中小学校

文責 校長

## 2学期を締めくくる大縄大会 一段とたくましくなった子どもたちに感動

本年度から、楽しく運動に取り組む中で、心も体もたくましい子を育てることをめざしてきました。

その2学期のまとめとして、体育福祉委員会の子も達が中心となって12月21日（火）に大縄大会を行いました。

昨年までは、学級1チームで行っていましたが、本年度は学級内で競い合って記録を伸ばすというねらいから、2年生以上は学級を複数のチームに分けて取り組んでいくことにしました。

学級を複数のチームに分けたことによって、リーダーの活動の場も増え、リーダーを中心に子ども主体の取り組みがなされていきました。

「よい取り組みが、よい子どもの姿を創りだす。」という言葉の通り、当日も素晴らしい子どもの姿をみることができました。

今、多くの小学校で感染性胃腸炎が広がりを見せています。そのなかで、当日は全校237人中欠席が0人、また、体調不良等で見学する子も0人、全員参加でこの会を行うことができました。チーム全員で練習に取り組んできたから、全員で新記録をめざしたいという熱い気持ちが伝わってきました。

また、全員参加ですので、審判もいません。3分間で跳んだ回数を自己申告するというルールを子どもたちが決め、それに基づいて、結果を報告していきました。不正を許さないというフェアプレーの精神に徹していたことも、中小がボール運動に取り組んできた大きな成果だと感じました。いつでも、どこでも、誰に対しても、フェアに生きるという大きな理想を貫いてほしいものです。

当日、1年生、2年生、5年生が今まで取り組んできたなかでも自己記録を更新しました。特に自己記録を更新し、全校で最高回数（355回）を達成したチームの子の作文を紹介します。

「集中を切らさないように！」チームのふんいきがもりあがるようにたくさん声をだしました。いよいよスタートしました。ずっとノーミスで、間もあけずにそのまま終了となりました。355回という今までで一番いい結果になりました。とてもうれしかったです。練習してきたときは失敗ばかりしてチームのふんいきがこわれたり、ひっかかってしまった子の悪口を言ったり、たくさんの出来事がありました。でも、あきらめずにだれかが声を出すと、他の子もだんだん声のでるようになり最高記録が出るなど、とってもいい出来事もありました。プレッシャーに負けず、チーム全員の心が一つになって取り組めたからこそ、最高記録が出せたと思います。

「子どもが育つためには、質のよい体験を・・・子どもは素晴らしい」そんな感動のひと時でした。



## ひびきあいの日

12月1日、ひびきあいの日として全校で集会をもちました。これは人権週間（12月4日～10日）をうけ、人権同和教育の一環として毎年この時期に行っているものです。今年は、お隣の授産施設「すみれの家」が三月をもって移転されるので所長さん・指導員さんと所生さん3人来ていただき、日頃の活動の説明や発表会に向けて練習されているという手品を見せて頂きました。ハンディを感じさせないほど素晴らしい手品に子どもたちもびっくりでした。金子みすずの「みんなちがって、みんないい」の詩どおり、一人一人の違いを認め合い、大切にしようことを学んだ一日でした。

## 3学期の主な行事

1/11 (火) 始業式・書き初め大会	3/5 (土) 心なきの会
12 (水) 発育測定(～13日)書き初め展(～13日)	7 (月) 振替休業日
2/1 (火) 巣南中入学説明会(6年)	23 (水) 卒業式準備
9 (水) 新1年入学説明会(午後)	24 (木) 卒業式
16 (水) 授業参観・PTA臨時総会 ・学級懇談会	25 (金) 修了式・離任式
	26～4/5 学年末・学年始め休業日 (※ 4/6 (水) 入学式・始業式)

### 楽しそうに話を聞いてあげないと、子どもは話し下手になる

「ねえねえ、聞いて」こう言いながら子どもが近づいてきたとき、いけないと分かってはいるながらも「今忙しいから、後で」と言ってしまいがちです。しかし、そのようなことを続けていると、その子どもは話し下手な大人になってしまうといいます。最も身近な話し相手である親から、話しかけるたびに嫌な思いをされると、次第に子どもは会話に対して臆病になり、消極的になってしまいます。これを「マイナスの条件づけ」といいます。米国の心理学者Jワトソンは人間の複雑な感情も条件付けによって説明できると考え、赤ちゃんに白いウサギを見せるたびに大きな音をたて赤ちゃんを泣かせるという実験をしました。すると、赤ちゃんは白いウサギが近づいてくるだけでおびえて泣き出すようになったといいます。これと同じように、親に会話を拒絶された子どもは、「会話＝怒られる＝怖い」と条件付けてしまうのです。子どもを話し下手にしないためには、親が興味をもって話を聞いてあげることです。たわいのない話でも笑ってあげれば子どもは喜びます。そしてそれが報酬となり、会話は楽しいものだと思うようになり、それを繰り返すことで話し上手になっていきます。(最近読んだ心理学の本から)

文責：教頭

## 冬休み中の課題

- ・冬休みのくらし(めあて、反省など)
- ・書き初め練習
- ・学習(プリント又はドリル)
- ・標語(あいさつ・家庭の日)
- ・なわとび練習
- ・日記(一日)＝1・2年

## 表彰おめでとう

<税の習字>

明日から1月10日まで、今回は土日や祝日を含めて17日間という長い冬休みに入ります。昨年に比べインフルエンザの流行はさほどではありませんが、感染性胃腸炎が広がりを見せていますので、児童の皆さんも保護者の皆さんもどうかお気をつけてお過ごし下さい。

12月29日～1月3日は、年末年始休業のため日中も職員不在となります。緊急の連絡は以下へお願いします。

校長携帯 090-2778-4761  
教頭携帯 090-1785-5651



(5年生十八条ふれあいサロンにて)